

愛郷
無限

土屋館
どや
だて 通信

発行者：大曲・花火通り商店街
文責：辻

お問い合わせ：080-1265-7035
tuck-t@akita-tsujiya.jp

2013年12月10日号 NO.438

写真提供：大仙市

Subject：どんなことがあっても人生にYESと言う。

NHK-BSプレミアムでこの秋10月から始まった新番組【ザ・プロファイラー】に感銘を受けました。栄功と苦難の両方を乗り越えた先達の物語を丁寧に綴る、毎週水曜の夜9時～10時の一時間番組です。

<http://www4.nhk.or.jp/profiler/>

12月4日（水）に放映された「人生にYESと言いなさい～レニ・絶賛と非難の101年～」がとても勇気づけられる内容でした。（12月から年明けには再放送されるはず（まだホームページには上がっていませんが））

1930年代のドイツで、ヒトラー率いるナチスがまだ政権を獲得する前の党大会やベルリンオリンピックの様子を、それまでにない斬新な映像表現・撮影方法で記録し、映画化した「レニ・リーフェンシュタール」。

これらの映画で国内外数々の映画賞を総なめにし“天才芸術家”という絶賛と名声を欲しいままにします。しかしドイツ敗戦後はその評価が“ナチの協力者”という汚名に一変してしまい、“悪魔の監督”とまで呼ばれたバッシングは、彼女の101年の人生に於いて、敗戦後から死ぬまでの一生涯止むことはありませんでした。それでも映画制作に執念を燃やし続け、スーダン・ヌバ族の美しい映像を記録した写真集が世界的な大絶賛を受け、亡くなる前年の100歳の時には最新作の映画を発表しました。ナチスを讃える話ではありません。彼女の情熱であったり、生命力であったり、執念がもの凄いのです。

そんなレニが亡くなる前に残したメッセージは：

「どんなことがあっても人生にYESということ。

どんな不運に見舞われても人生を愛し、肯定するのよ。」

国家が犯した罪を個人が受け止めるくらいのバッシングを受けながらも、決して絶望の深淵に落ち、人生を諦めることのなかった彼女。

命の重さがとても軽くなってしまった現代に於いて、例えどんな苦しい人生であっても、どんな苦悩があっても、先ず自分の人生をYES！と肯定することから始める大切さを伝えてくれます。

ご希望の方はDVDをお貸しします。また近い内の再放送のチャンスをお見逃しなく。そして明日11日夜9時～10時は「連合艦隊司令長官 山本五十六」の巻です。先達の苦悩や勇気、智恵、学びたいものです。